

帝人株式会社 ■ コーポレートコミュニケーション部

●東京本社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館 TEL.03-3506-4055 FAX.03-3506-4150
●大阪本社 〒530-8605 大阪市北区中之島3丁目2番4号 中之島フェスティバルタワーウエスト TEL.06-6233-3413 FAX.06-6233-5040
●URL <https://www.teijin.co.jp>

2020年12月2日

自動車向け複合成形材料事業の展開強化 ポルトガル拠点にCF-RTM成形設備を新設

帝人株式会社

帝人グループで軽量複合材料部品の生産・販売を手がける Inapal Plasticos SA（本社：ポルトガル・ポルト県、CEO：Miguel Ferraz、以下「イナパル・プラスティコ社」）は、このたび、生産性、外観性、寸法・品質安定性に優れるCF-RTM(*1)の成形設備を新設しました。

(*1)CF-RTM：Carbon Fiber Resin Transfer Molding の略。金型の中に炭素繊維シートを配置した後に樹脂を注入し、加熱により硬化させる成形方法。

帝人グループでは、環境負荷低減に向けた自動車メーカーからの要求特性に対応するため、軽量・高強度で生産性に優れるCF-RTMによる成形技術の開発に取り組んできましたが、これまで蓄積してきた炭素繊維に関する知見や、2017年に買収した北米最大の自動車向け複合材料部品メーカーである Continental Structural Plastics Holdings Corporation（CSP社）の技術などを融合することにより、このたびのCF-RTM成形設備の新設に至りました。

このたびイナパル・プラスティコ社に新設したCF-RTM成形設備は、帝人グループが有する炭素繊維、CAE解析、流体解析、プリフォーム(*2)、金型設計などに関する技術を駆使することにより、製造工程の完全自動化を実現しました。この設備により、部品の要求性能に応じて厚みを調整することができ、かつ炭素繊維を50%以上含有する高強度な成形品の製造が可能となります。また、射出時間が20秒と短いため生産効率も向上し、さらに、このプロセスによる成形品は、従来のアルミ製部品を約30%軽量化できることから環境負荷低減にも貢献します。

そして、こうした特長により、自動車業界で「クラスA」と称される美しい外観を有する外板部品や、優れた剛性が求められるホワイトボディなど、主要構造部材の成形が可能であることが評価され、既に欧米の自動車メーカーでの採用が確定しています。また、今後はリサイクルされた炭素繊維材料を使用し、3分間で量産に向けた成形を実現すべく開発を強化していきます。

(*2)プリフォーム：炭素繊維シートなどを金型（部品形状）に合わせ、予め賦形すること。

【 今次設備新設の概要 】

イナル・プラスティコ社の事業内容	自動車向け複合材料／部品の設計・成形・加工
設備新設拠点	ポルトガル セトゥーバル県 パルメラ
設備内容	圧縮プレス機、RTM射出成形機、接合装置
設備投資額	約 6.8 億円（約 550 万ユーロ）
設備稼働時期	2020 年 12 月

帝人グループは、マルチマテリアルでのTier 1サプライヤーとして、使用材料の拡充から部品設計にまで踏み込んでのソリューション提案力の強化や、グローバルでの安定供給体制の確立を進めていきます。そして、2030年近傍には、自動車向け複合材料製品事業の売上を2,000百万米ドル規模へと拡大していきます。



CF-RTM成形設備を新設したイナル・プラスティコ社パルメラ工場

以 上

【 当件に関するお問合せ先 】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL: (03) 3506-4055